

N-エチルアニリンの分解度試験成績報告書

(N-エチルアミノベンゼン)

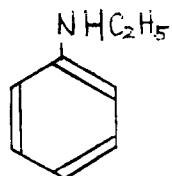
1. 試験期間 昭和50年12月7日～昭和51年1月4日

2. 試料名 N-エチルアニリン (試料No. K-180)

(N-エチルアミノベンゼン)

分子式 $C_8H_{11}N$

構造式



3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号

薬 発 第 6 / 5 号

49基局第392号

微生物等による化学物質の分解度試験による

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

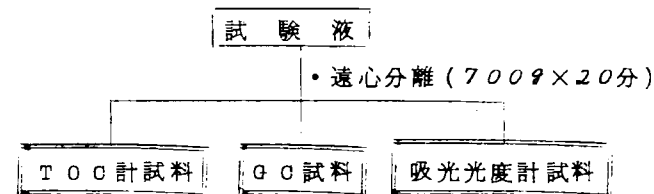
(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TC回路 200ml/min

温度 TC炉 900℃

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 20%PEG 20M+5%KOH/クロモソルブW AW

ガラスカラム 2mmφ×2m

カラム温度 150℃

紫外可視自記分光光度計(吸光光度計)

波 長 200nm~370nm

スリット幅 4nm

使用セル 石英セル 10mm

以下次頁に続く

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
T O C 計による結果	2.1	2	1
G O による結果	5.9	3	2
吸光光度計による結果	(-)※	4	3

※ 負の値を得たので(—)とした。

5. そ の 他

操作上特に問題点はなかつた。

以 上